

# 新型コロナウイルスへの感染防止と 今後の事業活動に関する 当協会の対応について



森田 弘昭

MORITA Hiroaki

(一社)日本非開削技術協会  
会長

本号が発刊される7月には、新型コロナウイルス感染症に関する話題が過ぎたものとなっていることを願っておりますが、なかなか難しい状況ではないかと思えます。ワクチン開発までに時間を要すると言われていたなかで、日常生活を本格的に再開していくうえでも、会員皆さまも大変不安が大きいところかと思えます。

振り返りますと、4月7日に政府から「緊急事態宣言」が発出され不要不急の外出自粛やテレワーク推進が求められ、私たちの生活や仕事にも大きな影響が及んでいます。会員の皆さまも、テレワークやWEB会議など今までにない業務スタイルがいきなり求められることとなり、日々ご苦労されていることかと思えます。

新型コロナウイルス感染症は、一時の衰退が期待されるものの、今後も継続的につきあっていく必要があると言われております。このような状況においても、協会活動を委縮することなく、将来の協会の事業活動の姿も模索しながら前向きな姿勢でのぞみたいと考えております。

先日6月24日に開催した理事会において、今年度予定している事業活動は、止むを得ないものを除き「密閉」、「密集」、「密接」の「3密」とならないような方法を取りながら活動を継続していくことが確認されました。さらに現在中断しております委員会活動もWEB会議等を活用するなどの対策を講じて、活動の再開を進めることとしました。

従来の会議形式と異なり、WEB会議ではお互いの発言内容の確認に時間がかかる等の不具合も報告されておりますが、新型コロナウイルスによる自粛の継続ではなく、制約下における業界の新たなスタイルを意識し、一歩踏み込んだ活動に努めてまいりたいと思えます。

このような協会活動を進めていくうえで、まず一番重要なことは、会員の皆さまの安全と健康を守ることと考えておりマスクの着用、アルコール消毒などの感染防止ハード対策はしっかりと整えたいと考えて事業を計画することをお約束いたします。

事務局には今年度事業に関わる対策だけではなく、来年、再来年と続く非開削技術業界の中長期的な将来を見据えた事業計画の策定を指示しました。今回は経験のない緊急事態ですが、この事態がきっかけとなり非開削技術業界も大きく変貌、改善していくことが必要と考えております。非開削技術業界の活動がこの新型コロナウイルス感染症拡大により停滞しないよう協会として精一杯務めさせていただき所存です。

また、このような大きな情勢変化のなかで会員の皆様との協働は、極めて重要なものと考えており忌憚のないご意見をお待ちしております。

最後になりますが、引き続き当協会運営に今までと変わらぬお付き合いをお願い申し上げます。